

## 令和5年度 第1回学校運営協議会【会議録】

1 開催日時 令和5年6月15日(木) 15:00～16:30

2 会場 盛岡第四高校会議室

3 出席者 12名(欠席3名)

《学校運営協議会委員》坂本理様、米慎司様、菅原まゆみ様、赤澤徳俊様

《本校》校長：上柿剛、副校長：大石敦子、副校長：千葉浩、事務長：浅沼佳子、総務主任：桜庭隆夫、  
教務主任：渡邊健、生徒指導主事：松田光弘、進路指導主事：伊藤仁士

4 会議録

### (1) 校長挨拶

- 辞令について。昨年に引き続きよろしく申し上げます。
- 本校について
  - ・ 昨年度、学校評議員から学校運営協議会(コミュニティー・スクール〈CS〉)に移行。CSは当事者として学校経営に対しご助言いただく。
  - ・ 4月からの行事はコロナ禍前に戻りつつある。中学生1日体験、文化祭、八重山相互交流も実施の方向で計画している。
- 今後について
  - ・ LGBTQへの対応を昨年から検討している。生徒アンケートなどを受け、暑さ対策として今年度夏からジャージでの登校を可とした。9月に自由な服装で登校する期間を設け、生徒に制服の在り方について考えさせる機会を設ける予定。
  - ・ 来年度入学生から個人端末を授業等で利用することになる。現1年生も40名ほどが購入済み。プロジェクトチームを立ち上げ生徒が授業で端末を効果的に活用できるよう研究していく。中学校の授業参観も検討したい。
  - ・ R7新高校入試、校則の見直しなどについても委員のご意見を伺っていきたい。
  - ・ 学校行事に際しては委員に案内を差し上げる。来校いただきご助言・ご提言をいただき、さらに魅力的な学校にしていきたい。

### (2) 出席者自己紹介

### (3) 学校概況等報告(校長・各課長)

- 令和5年度学校経営計画
- スクール・ポリシー
- 各課重点目標

### (4) 質疑応答等

- ・ 卒業生で浪人を選択したものはいたのか。→2人が入学辞退し、行先未定のままが8人。
- ・ 自由な服装試行期間についてどのように感じるか委員の感想をお聞きしたい。(5)参照

## (5) 意見聴取・ご提言

### 《A 委員》

- ・ 制服には愛着があるが、パンツのデザインしただけではセーラー服にも合うかもしれない。
- ・ 私服登校では途中で事故にあった際に四高生とわからないかもしれない。わかるようなものを身に着けるなど工夫が必要ではないか。
- ・ ジャージ登校は雨で濡れた際など助かる。天候状況に柔軟に対応できるのでよいと思う。
- ・ 自転車のヘルメット着用は事故防止の上で大事なことであるので家庭の協力をいただきながら進めてほしい。
- ・ 八重山交流は楽しみ。対面交流できなかった期間が生かされることを期待したい。
- ・ 友人から悩みなどを相談されたとき、相談を受けた側が受け止めきれないような場合がある。守秘義務の問題もあるが相談を受けた生徒も大人に相談できるということを発信していってもらえれば、その生徒も気が楽になるのではないか。

### 《B 委員》

- ・ 四高生の姪がいるが、コロナ禍で校歌を覚える機会がなく歌えないと言っている。卒業してから 30 年がたつが今でも歌える。大人になって歌えないことは悲しいのでしっかりやっていていただきたい。
- ・ 町内会からの要望。並木道の通行について交通マナーに気を付けるよう指導してほしい。車がきても避けずに広がって通行している生徒がいる。またグラウンドの整地を車両で行う際に巻き上がる土埃について、周辺の住民が困っているようなので配慮してほしい。

### 《C 委員》

- ・ 国公立大 150 人合格、卒業生の 60%。高校入試の倍率も 1.4 倍。選ばれる高校ということの数値が表している。
- ・ コロナ後、社会は元に戻っていくかもしれないが、価値観の変化も様々な面で顕在化していくと思われる。働き方改革も念頭にただ戻るのではなく本来の目的はなんであったのかを考え刷新していくということも必要。
- ・ ジャージ登校や、服装試行期間など、正解のないことへの試みは四高らしい取り組みだと思う。
- ・ LGBTQ などに対する社会のアンテナが敏感になってきている。生徒に寄り添うという考えはよいと思うが、わが子の選択に親が抵抗感を持ったり、困惑してしまうことがあるかもしれない。同時に親へのフォロー、ケアしていくことも必要になる。

### 《D 委員》 \*途中退席につき後日書面にてご提言

- ・ 学校経営計画について

自律学習者の育成は義務教育でも目指し、小中高大と繋げて育成したいと考えている。「主体的に学ぶ力」を本校でもしっかりと生徒に付けさせるよう努力し、高校へタスキを渡したいと考えている。

・総務課について

本校においても来年度から CS（学校運営協議会）を立ち上げていく。働き方改革を踏まえつつも PTA の協力体制については必要であるとする。今まで行ってきた活動はコロナにおいて 3 年間でできなかったが、今年度の PTA 活動の再開と同時に今後どうしていきべきか検討していきたい。

・教務課について

これからの資質・能力を身に付けさせるためにも「探究型」の授業の工夫に期待する。中学校も頑張っていく。自動採点に大変興味がある。お金がかかるものなのか、マークシート形式のものなのか等、本校でも話題になっている。ICT を活用した授業は、本校でも実施している。ロイロノートによる授業は個別指導的にもメリットがあるが、プレゼンテーション的な内容は黒板の活用と同様になることもあり、？が付く。本校の課題でもある。

一日体験入学、とてもありがたい。よろしくお願いします。

・生徒指導課について

最近の小中学校で、基本的な生活習慣が身に付けられない児童、生徒が増えている。不登校やいじめも大きな課題としてある。高校においても引き続き指導の強化をお願いしたい。

・進路指導課について

キャリア教育はよりよい人生を送らせるために大切な柱となる。生き抜く力を付けさせるために、力を入れる点が素晴らしいと思う。中学校においても、職場体験、職業講話等工夫していくので今後もぜひ大切にしていきたい。

(6) その他・連絡

第 2 回は 2 月 9 日（金）を予定している。